

総代のみなさまへ

第 41 期 第 12 号 6 月 9 日

第 41 総代の任期は 2024 年 6 月 13 日～2025 年 6 月 10 日まで



生協ひろしま 理事会

田の苗はすくすくと育っています。豊作になるとよいですね。
総代のみなさま、1 年間ありがとうございました。今年は国際協同組合年であり、被爆・戦後 80 年の節目の年です。ワクワク通信やこーぷぱれっとを通して、これからも活動の輪が広がることを願っています。これからもよろしくお願いします。



5 月 21 日開催 第 12 回理事会の報告

理事長挨拶

第 41 期春の地区別総代会議が、8 つの地区で開催されました。多くの皆さまにご出席やご協力をいただき、誠にありがとうございました。分散会では、職員の対応に対する嬉しいお言葉や、お米のお届けに関するご意見など、さまざまなお声をいただきました。いただいたご意見は、今後の活動に活かしてまいります。

第 1 号議案 2024 年度決算報告と剰余金処分案（最終）および監査報告書について

2024 年度末決算報告と剰余金処分案（最終）、監査報告書について、承認されました。監査後の当期末処分剰余金は 11 億 9,614 万円となりました。

※当期末処分剰余金とは、2024 年度経常剰余金 14 億 190 万円から法人税や特別損益などを引き、最終的に残る剰余金のことです。

出資配当金は前年 0.1%から 0.2%へ増額し、利用分量割戻金は昨年と同様に 0.3%として組合員還元をおこないます。

主な当期処分額として、法定準備金 3 億 5,000 万円、災害支援積立金 1,500 万円、店舗開設準備積立金 1 億円、資産再評価等積立金 3 億 5,000 万円、災害対策等積立金 5,000 万円を計上し、次期繰越剰余金は 1 億 5,714 万円とします。

<剰余金処分案について>

- ①災害支援積立金は、災害復興支援活動及び活動などに活用するキッチンカー導入に備え、積み立てます。
- ②店舗開設準備積立金は、店舗リニューアルや新規出店に伴う大型投資に備え、積み立てます。
- ③資産再評価等積立金は、減損損失に備え、積み立てます。
- ④災害対策等積立金は、自然災害による施設の損壊や事業損失、サイバー攻撃による経営リスクに備え、積み立てます。

第 2 号議案 光南支所（仮称）工事請負契約書の締結について

光南支所（仮称）工事請負契約書の締結について、承認されました。2025 年 4 月に清算見積りを受領し計画通りの予算内におさまりましたので、大和ハウス工業（株）と工事請負契約書を締結します。

工事請負契約書（抜粋）の内容は以下となります。

- (1) 発注者・受注者 （発注者）生活協同組合ひろしま（受注者）大和ハウス工業株式会社
(2) 工事場所 広島市中区光南 5 丁目 900-3、900-7、900-8、900-11
(3) 工期 着手 2025 年 8 月 1 日 引渡日 2026 年 5 月 29 日
(4) 請負代金 7 億 6,705 万円（税抜）※坪単価約 110 万円

※建設コストが基本設計より 1,215 万円増額となりました。これは広島市の条例により、
治水施設の設置が義務付けられていることが判明し、雨水貯留槽を新たに設置する必要
が生じたためです。

※防災関連については、広島市津波ハザードマップに基づき、緊急時は建屋2 階や屋根へ
垂直避難できる体制を整備します。また、周辺には指定緊急避難場所が約 10 カ所あり、
職員には避難先を周知します。

※倉庫区分のため南海トラフ地震防災規程の届出は不要となります。届出が必要な事業所は、
複数人が出入りする建物、こどもやお年寄りが出入りする建物等とされており、生協ひ
ろしまではグループホーム観音、福祉センター観音、コープ船越が届出を提出していま
す。

第 3 号議案 2025 年春闘交渉における「ベースアップ」および「処遇改善加算」にともなう 就業規則の改定について

2025 年春闘交渉における就業規則の改定について、承認されました。

2025 年春闘交渉の結果、下記のとおりベースアップおよび処遇改善を実施します。

- ①総合職・専任職の役割給（基本給）を月額 3,000 円アップします。
②福祉専門職以外の時給制職員の基本時給を 50 円アップします。

2025 年 5 月 22 日に労働基準監督署へ届出をおこない、5 月給与からの反映となります。

第 4 号議案 4 月度組織・事業状況及び決算報告

1. 4 月度決算・事業状況

2025年4月度		損益計算書			(単月)		2025/5/6				
					予算:42期予算		単位:千円				
No.	科 目 名	本年予算	本年実績	前年実績	予算比	予算差	前年比	前年差	計算式	用語説明	
A	宅配事業	3,287,598	3,322,297	3,242,241	101.1%	34,699	102.5%	80,055		宅配利用金額	
B	店舗事業	756,069	783,046	727,029	103.6%	26,977	107.7%	56,017		店舗利用金額	
C	供給高(利用高)	4,043,667	4,105,343	3,969,271	101.5%	61,676	103.4%	136,072	(A+B)	宅配・店舗利用金額	
D	供給原価	3,022,280	3,065,285	2,975,909	101.4%	43,005	103.0%	89,376		商品の販売費用	
E	供給剰余金	1,021,387	1,040,057	993,361	101.8%	18,670	104.7%	46,696	(C-D)	商品販売の利益	
F	電力供給高	53,780	57,602	51,297	107.1%	3,822	112.3%	6,305		電力事業の収入	
G	電力供給原価	47,126	52,112	51,786	110.6%	4,986	100.6%	326		電力事業の仕入高	
H	電力供給剰余金	6,654	5,490	-489	82.5%	-1,164	1323.5%	5,979	(F-G)	電力事業の利益	
I	福祉事業収入	117,456	117,429	116,742	100.0%	-27	100.6%	687		福祉事業の収入	
J	福祉事業費用	110,812	109,270	111,734	98.6%	-1,542	97.8%	-2,464		福祉事業の費用	
K	福祉剰余金	6,644	8,160	5,008	122.8%	1,516	162.9%	3,151	(I-J)	福祉事業の利益	
L	共済受託手数料	61,632	61,317	61,448	99.5%	-315	99.8%	-131		共済受託手数料収入	
M	受取手数料	66,531	73,663	68,339	110.7%	7,132	107.8%	5,323		受取手数料収入	
N	その他事業収入	128,163	134,980	129,788	105.3%	6,817	104.0%	5,192	(L+M)	個配、共済受託などの手数料収入	
O	事業総剰余金	1,162,848	1,188,687	1,127,669	102.2%	25,839	105.4%	61,018	(E+H+K+N)	事業活動からの利益	
P	人件費計	572,099	581,666	561,494	101.7%	9,567	103.6%	20,172		職員給与など	
Q	物件費計	580,727	556,829	515,615	95.9%	-23,898	108.0%	41,214		広報費、水道光熱費、家賃、委託料など	
R	事業経費	1,152,826	1,138,495	1,077,109	98.8%	-14,331	105.7%	61,386	(P+Q)	事業活動からの経費	
S	事業剰余金	10,022	50,191	50,559	500.8%	40,169	99.3%	-368	(O-R)	事業活動の利益から経費を引いた利益	
T	事業外収益	18,831	22,179	25,388	117.8%	3,348	87.4%	-3,209		財務活動からの利益(家賃収入など)	
U	事業外費用	368	538	368	146.1%	170	146.2%	170		財務活動からの費用(支払利息など)	
V	経常剰余金	28,485	71,833	75,579	252.2%	43,348	95.0%	-3,747	(S+T-U)	事業全体で得た利益	

■A 宅配事業

利用高 33 億 2,229 万円、予算比 101.1%・予算差+3,469 万円、前年比 102.5%・前年差+8,005 万円でした。利用人数は予算比 99.6%、実利用金額は予算比 102.0%。

■B 店舗事業

利用高 7 億 8,304 万円、予算比 103.6%・予算差+2,697 万円、前年比 107.7%・前年差+5,601 万円でした。来店客数は前年比 104.3%、客単価は前年比 103.3%。

宅配事業(2025年4月度)								店舗事業(2025年4月度)				
宅配事業	本年予算	本年実績	前年実績	予算比	予算差	前年比	前年差	店舗事業	本年実績	前年実績	前年差	前年比
利用人数(名)	731,790	729,101	724,988	99.6%	-2,689	100.6%	4,113	来店客数(名)	327,077	313,681	13,396	104.3%
実利用金額(円)	4,991	5,093	4,995	102.0%	102	102.0%	99	客単価(円)	2,394	2,318	76	103.3%

■E 供給剰余金

実績 10 億 4,005 万円、予算比 101.8%・予算差+1,867 万円、前年比 104.7%・前年差+4,669 万円。

■H 電力供給剰余金

実績 549 万円、予算比 82.5%・予算差-116 万円、前年比 1,323.5%・前年差+597 万円。

■K 福祉剰余金

実績 816 万円、予算比 122.8%・予算差+151 万円、前年比 162.9%・前年差+315 万円。

■N その他事業収入

実績 1 億 3,498 万円、予算比 105.3%・予算差+681 万円、前年比 104.0%・前年差+519 万円。

(共済受託手数料 実績 6,131 万円、予算比 99.5%・予算差-31 万円、前年比 99.8%・前年差-13 万円)

(受取手数料 実績 7,366 万円、予算比 110.7%・予算差+713 万円、前年比 107.8%・前年差+532 万円)

■O 事業総剰余金

実績 11 億 8,868 万円、予算比 102.2%・予算差+2,583 万円、前年比 105.4%・前年差+6,101 万円。

■R 事業経費

実績 11 億 3,849 万円、予算比 98.8%・予算差-1,433 万円、前年比 105.7%・前年差+6,138 万円。

■S 事業剰余金

実績 5,019 万円、予算比 500.8%・予算差+4,016 万円、前年比 99.3%・前年差-36 万円。

■V 経常剰余金

実績 7,183 万円、予算比 252.2%・予算差+4,334 万円、前年比 95.0%・前年差-374 万円。

2. 2024 年度電力小売事業の事業報告と 2030 年度シミュレーション修正について

2024 年度電力小売事業の事業報告と 2030 年度シミュレーション修正について、確認されました。

2024 年度実績値は、供給高 7 億 8,638 万円、供給原価 7 億 9,116 万円、供給剰余金-477 万円となりました。主な事業実績の報告は以下となります。

- ①供給計上件数（月平均）は、予算 7,000 件に対し実績 7,133 件と 133 件超過しました。

②1 人当たりの月次使用量は、夏場の^{もうしよ}猛暑、冬場の^{げんとう}厳冬の影響もあり、予算 307kWh/月に対し、326kWh/月と 19kWh/月増加しました。

※kWh（キロワットアワー）は、1kW の電力を 1 時間使用した場合の電力量が 1kWh です。

③燃料調整費単価(税抜)(月平均)は、予算△6.66 円/kWh に対し実績△7.68 円/kWh となり、予算差 △1.02 円/kWh となりました。

<国の補助金による影響について>

国の電気代負担軽減策により、契約者への請求額を約 4,862 万円分値引きしました。この金額は供給高に計上できないため、供給剰余金は－477 万円となっています。

なお、補填額 4,862 万円は事業外収入に計上され、国の電気代負担軽減策がなければ供給剰余金は 4,385 万円でした。

2030 年度シミュレーション修正値は、供給高 11 億 8,214 万円、供給原価 11 億 1,464 万円、供給剰余金 6,750 万円、事業剰余金 2,892 万円を見込みます。

主な 2030 年度シミュレーション修正内容は以下となります。

- ①供給計上件数は、2030 年度末に当初計画 15,000 件から 12,000 件に変更します。
- ②1 人当たりの使用量は、2024 年度実績 326kWh（月平均）にて作成します。
- ③販売単価は 2025 年 6 月の料金改定後、2030 年度まで変更をしない試算としています。
- ④燃料調整費は 2025 年度予算と同一の△7.73 円/kWh(税抜)にて作成します。
- ⑤仕入単価(税抜)は、2025 年度の契約形態と単価にて試算しています。

今後、1 年～3 年の進捗状況（供給計上件数や 1 人当たり年間使用量）や 2030 年度シミュレーションについて、定期的に見直し・修正をおこないます。これらの進捗状況および修正内容については、随時理事会へ報告します。

3. 2024 年度店舗事業報告

2024 年度店舗事業の実績と店舗ランク付けについて確認をしました。2024 年度は、店舗事業本部管理費を含む店舗事業全体計の直接剰余金は＋1 億 1,473 万円となり、店舗事業はじめての直接剰余金が黒字での着地となりました。

2024 年度	予算	実績	計画比	前年比
供給高	88 億 8,000 万円	93 億 6,289 万円	105.4%	108.2%
供給剰余金	23 億 6,768 万円	24 億 9,114 万円	105.2%	108.7%
G P R	26.66%	26.61%	－0.06%	＋0.13%
事業総剰余金	25 億 2,337 万円	26 億 6,541 万円	105.6%	108.5%
事業経費	25 億 4,942 万円	25 億 2,437 万円	99.0%	97.8%
事業剰余金	－2,604 万円	1 億 4,104 万円	741.5%	313.1%
直接剰余金	－5,090 万円	＋1 億 1,473 万円	425.4%	279.8%
経常剰余	－3 億 6,071 万円	－1 億 7,186 万円	152.4%	157.5%

2024 年度店舗ランク付けは以下となり、閉店対象含めて「B・C ランク店舗」に該当する店舗はありません。（ランクは店舗存続基準の指標の中の 1 つです）

ランク	基準	目指す指標と取り組み	2019	2022	2023	2024
A	供給高が年間 10 億以上で直接剰余がプラスの店舗	経常剰余の黒字化が見込め、維持向上が可能な店舗	焼山 安東 高陽	焼山、安東 東広島 高陽 五日市北	焼山、安東 五日市北 高陽、西風 新都	焼山、 東広島、 安東、高陽 船越、 五日市北 西風新都
B	供給高が年間 9 億以上の店舗	店舗事業を維持・発展させるために直接剰余の黒字化を目指します	五日市北	船越 西風新都	東広島 船越	
C	供給高が年間 9 億以下の店舗	店舗存続のため、赤字経営の改善を課題に対策を進め、業態転換・移転・改装等の方向性も視野に入れます	東広島 船越 西風新都			

第5号議案 4 月度一般活動報告

1. 内部統制・グループ会社報告

4 月度の内部統制（法令遵守事項、商品お申し出、車両事故、労働災害、各種事故、ヘルプライン、残業など）、グループ会社（コープサービス、コープハウジング、ハートコープ、ハートランド）の事業内容について報告、確認しました。

2. 第 41 回通常総代会の議事進行、当日の流れなどの最終確認をしました。

3. 2030 ビジョン・SDGs 目標の 2024 年度進捗状況について報告、確認しました。

4. 生協ひろしまと JA 全農ひろしまとの米づくりについて

現在、生協ひろしまと JA 全農ひろしまでは、生産者と消費者の顔が見える交流として、石見米づくりの会やあきろまんの会での産地交流をおこなっています。

この度、生協ひろしまと JA 全農ひろしまとの間で、昨今の米の品薄による価格高騰、耕作放棄地、農業の後継者、県内自給率など、農業に関わる様々な問題についてディスカッションがおこなわれました。その中で協同組合間連携による米づくりに参画する方向で確認され、今後は、2025 年度に向けて包括的連携協定の項目・内容について協議を進めるとともに、実際の米づくりに取り組みます。

栽培管理は JA 全農ひろしまが担い、生協ひろしまの職員も現場に参画します。組合員の参画については、協定内容を精査した上で企画・提案をおこなう予定です。また、収穫された米の活用方法については、組織内で検討し有効な活用を図っていきます。

生産場所、作付品種、収量などは以下となります。

- (1) 生産場所 三原市高坂町真良 2109-1 (2) 作付品種 あきろまん
(3) 目標収量 約 1,500～2,000 キロ ※1 袋 (30 kg) = 約 50～60 袋

今後の協議、調整課題として、連携協定の締結については年内を目途に協議をすすめます。また、今秋収穫される米は生協ひろしまが全量買い取りし、子ども食堂へ寄与など活用方法を組織内で検討します。2026 年度以降は、今年度の取り組みを踏まえ、整理、精査し、具体的な取り組みを提案していきます。

5. 産直みつせ鶏の種鶏変更について

産直みつせ鶏の生産をおこなっている(株)ヨコオから、種鶏(鶏種)の追加と出荷日齢の変更について、要請があり、確認されました。

(1) 種鶏(鶏種)の追加

安定供給に向けた対策として、新たにサッソ社(フランス)から調達した鶏種を種鶏として追加します。

	オス系鶏種	メス系鶏種
追加する種鶏	XL44N	SA31A

2025 年 9 月以降、従来の鶏種と追加する新たな鶏種が混在して流通する予定です。

(2) 出荷日齢の変更

前回導入した純国産赤鶏たつの種は、出荷日齢(65～75 日)では体重の増加により病気や処理時の脚折れが発生し、商品化率が低下しています。この影響で商品供給に支障が出ているため、対策として出荷日齢を見直し、供給量の安定を図ります。

	現行	変更後
出荷日齢(たつの種のみ)	65～75 日	60～75 日

2025 年 7 月以降、出荷日齢を変更した、たつの種が流通する予定です。

文書報告

1. コープ商品の改廃情報（2025 年 6 月～2025 年 8 月）として、35 品目が報告されました。
2. 2025 春闘要求と回答、組合員活動報告、地域連携活動報告、各会議議事録が報告されました。
3. 第 41 期春の地区別総代会議出席状況（速報値）が報告されました。

インフォメーション

☆第 41 期「春の地区別総代会議」出席状況

総代人数 531 名に対して出席人数 321 名で、出席率は 60.5%でした。前年比は+2.7%でした。

☆無印良品計画と生協ひろしまの連携に関する協定締結記念式

5 月 1 日、連携協定を結び、5 月 8 日広島市西区の無印良品アルパーク店にて連携協定締結を記念した式典を開催しました。健康・食育・環境・防災・子育て支援・コミュニティづくりなど、くらしに関わるさまざまな分野で協力していきます。



【無印良品売り場開始】

5 月 16 日から「コープ高陽」、5 月 30 日からは「コープ西風新都」に無印良品コーナーが登場しました。

靴下や肌着・化粧水・文房具・収納・掃除グッズ・カレーやお菓子など生活に役立つ約 900 アイテムを取り揃えています。



「コープ高陽の売り場」



「コープ西風新都の売り場」

☆「ユニセフ募金」贈呈式

2024 年度に取り組んだユニセフ募金は、3,587,741 円の協力がありました。5 月 21 日、贈呈式をおこないました。



「広島県ユニセフ協会福島事務局長と宗本理事長」